

# 9月定例会のあらまし

9月定例会は、8月25日から9月22日までの29日間の会期で開催されました。

初日には教育委員会委員の任命に全会一致で同意、弥富市手数料条例の一部改正を全会一致で可決しました。

その他、弥富市市民ホール条例等の一部改正について、令和3年度弥富市一般会計補正予算（第6号）、令和2年度弥富市一般会計歳入歳出決算認定など15議案が提出され、中日には令和3年度弥富市一般会計補正予算（第7号）が追加上程されました。所管の委員会に付託、審議し、議案は原案どおり可決し、請願は不採択としました。

最終日には、議員発議で意見書4件を全会一致で可決しました。

なお、行財政委員会に付託された審査内容については、委員会レポートをご覧ください。

## 初日

## 議案質疑



## 一般会計決算認定

**問** 実質収支比率が、平成25年度から令和元年度まで

に黒字化になった要因は。  
**答** 一般財源の増加が主な要因。

## 一般会計補正予算

**問** 臨時財政対策債の1億円ほどが、普通交付税1億5千万円ほどに変わった理由は。  
**答** 令和3年度の算定により、臨時財政対策債に振り分けられる金額が予算編成時の見込みより少なくなりました。

**問** 介護施設等整備事業補助金1億5千万円ほどの事業説明を。  
**答** 第8期介護保険事業計画、高齢者福祉計画において29床の小規模介護付きホームの整備に係るもの。

## 弥富市市民ホール条例等の一部改正について

**問** なぜコロナ禍でほとんどが値上げとなる改定を行うのか。  
**答** 使用料はサービスの対価としての受益者負担。

平成29年度から令和元年度までの決算額をもとに新

使用料を算定。  
公共施設の使用料適正化に関する方針に基づいて改定する。

## 本会議最終日



### 反対

### 那須英二議員

保育無償化に伴って交付税が大幅に増額され黒字となった。しかし、市独自のコロナ対策ができていない。また、子どものための交付税を子育て支援の拡充に使わず、自由通路事業を進めるのは納得できない。

### 討論

### 佐藤仁志議員

令和2年度は、コロナ禍においても職員の努力により予算が執行できた。今後、財政の悪化要因が増加することに留意し、対策を急いでほしい。そのため行政職員の組織的、戦略的奮起を求める。

### 賛成

### 可決

一般会計歳入歳出決算認定に対して

### 反対

弥富市市民ホール条例等の一部改正など2議案に対して

### 那須英二議員

個人情報保護条例の一部改正はデジタル庁に伴っての変更なので賛同できない。市民ホールについては、受益者負担を求めるばかりでなく、利用しやすい施設にし、活用を図るべき。

## 請願第4号 弥富市残土条例の制定を求める書簡

◆ 請願事項  
弥富市土砂等の盛り土等による土壌汚染と災害発生防止に関する条例（いわゆる残土条例）を制定して下さい。

## 意見書の提出

- ◆ コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出  
提出先【衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣】
- ◆ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出  
提出先【内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣】
- ◆ 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出  
提出先【内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣】
- ◆ 特定外来生物の侵入防止のため輸入品に対する検疫強化の法律改正を求める意見書の提出  
提出先【内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、環境大臣】